

動作確認



警告

周囲の安全を確認の上、パーキングブレーキをしっかりと引いて下さい。
シフトレバーは、必ずPレンジにして下さい。重大な事故につながる恐れがあります。

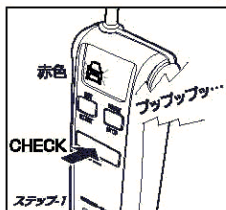
ステップ1

リモコンのCHECKスイッチを短く（1秒以下）押します。

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出して、CHECKスイッチを短く（1秒以下）押すとスイッチ操作待ち表示 [音「ブツブツ…」、白LED赤色点滅] を3秒間表示します。



・CHECKスイッチを長く（1秒以上）押してしまうと、「エンジン始動状態の確認」送信となります。アンサーバック表示終了後に、もう一度CHECKスイッチを短く押して下さい。



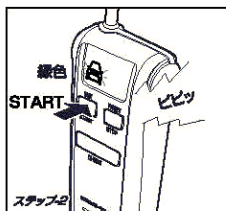
ステップ2

3秒以内にSTARTスイッチを押します。

スイッチ操作待ち表示中にSTARTスイッチを送信音 [ヒビッ] が鳴るまで押します。その約1秒後にアンサーバック表示 [音「ヒビッ」、白LED緑色1回点滅] をします。



STARTスイッチを押す前に、スイッチ操作待ち表示が終了（3秒経過）してしまった場合は、ステップ1からやり直して下さい。スイッチ操作待ち表示終了後にSTARTスイッチを押すとLED感度のセット（設定時）および、オプション品のセット（別売・取り付け時）の送信となります。



ステップ3

車のエンジンが始動します。

エンジンスターター本体が信号を受信すると、数秒後にスターターが回りエンジンが始動します。エンジン始動後は、エンジンスターター本体から警告音「ブツ」が数秒間隔で鳴り続けアンテナユニットの緑色LEDが点滅を始めます。一度で始動しない場合は、その後2回のリトライ（再始動）動作を行います。

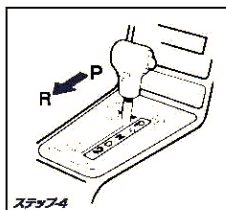
ステップ4

シフトセンサーの確認をします。

リモコンでエンジンが始動した後、キーを差さずにフットブレーキをしっかりと踏みながら、シフトレバーをゆっくりとPレンジからRレンジへと動かします。このときエンジンが止まることを確認します。



車種によっては、キーを差さないとシフトレバーが動かせないものもあります。その場合は、キーをACCの位置まで回して確認して下さい。



以上で動作確認は終了です。

正常に動作しない場合は、下記の「エラー発生時のQ&A」を参考に対処して下さい。

エラー発生時のQ&A

Q (症状)

- ステップ2でSTARTスイッチ操作1秒後のアンサーバック表示が説明と異なるのですが…?
- エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動（リトライ）が行われてしまうのですが…?
- エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまうのですが…?
- 一部ディーゼル車で寒冷時に始動がうまく行われないのですが…?
- スターターモーターの駆動時間が短いため、1回目のスターター駆動でエンジンがかからず、リトライしてしまうのですが…?
- リモコン操作によるエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しないのですが…?

A (対処方法)

- | アンサーバック音 | リモコンLED | 状態 | 対処 |
|----------|------------|------------------------------|---|
| ブー | 緑色2秒点灯 | アンテナユニットからのアンサーバック音が発出されません。 | アンテナユニットのパワースイッチが入っていない。スイッチをONにしてください。 |
| ブー | 表示なし | オートマチック車の登録がされていません。 | 「オートマチック車の登録」をしてください。 |
| ブツブツ | 白LED赤色3回点滅 | キャリアセンサエラーです。 | 近くで同じ周波数（428MHz）を使用した無線機器が電波を送出中です。しばらく時間（数秒）を置いてからもう一度お試しください。 |
- エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。
詳しくは、22ページの「**L端子検出方式への変更**」を参照して下さい。
ディーゼル車の場合は、ガソリン車/ディーゼル車の切替も行ってください。
詳しくは、25ページの「**ガソリン車/ディーゼル車の切替**」を参照して下さい。
- ▶ グロー（予熱時間）が足りないことが考えられます。
詳しくは、23ページの「**グロー時間の切替**」を参照して下さい。
 - ▶ スターターモーターの駆動時間を学習させることが出来ます。
詳しくは、24ページの「**キー始動学習機能の設定**」を参照して下さい。
 - ▶ オートマチックシフトの検出がうまく行われていないと考えられます。
詳しくは、22ページの「**フットブレーキ検出方式への変更**」を参照して下さい。



これらの症状は、取り付け時に発生しなくても、しばらくご使用したあとに発生することもあります。症状が発見された時点で確認して下さい。